

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋建築環境性能評価制度適用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)栄3丁目パーキング新築工事	階数	地上3F
建設地	名古屋市中区栄3丁目3411番2、3401番2の一部	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年4月15日
敷地面積	1,108 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	879 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,665 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>= BEE 0.3</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>■建設 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 1.9</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 0.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 1.3</p>

LR 環境負荷低減性		
<p><b>LRのスコア = 2.5</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 2.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>周辺環境への影響を最小限とするよう配慮した。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b> (立体駐車場の為、対象外。)</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>壁長さ比率 128.93/879.05=0.146として、プランニングの自由度が高い。露出配線の為、構造部材、仕上げ材を痛めることなく、電気設備の更新が可能である。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>緑化率10.2%を確保しており、生物環境の創出に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LED照明の採用により、省エネルギーに配慮している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>鉄骨柱・梁にSS400材、SN490材を採用し、材料使用量を削減している。躯体は鉄骨、外部仕上げは鋼板で取付をボルトで行い、部材の再利用可能性向上へ配慮している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>燃焼機器を使用していないため、大気汚染防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)栄3丁目パーキング新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				2.0
LR1	エネルギー	2.0	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	0.0	0	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.075	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.171428571	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.017142857	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.085714286	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.0	0.025	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 2.0



#### 2. 自然共生

評価点 = 1.6



#### 3. 循環型社会

評価点 = 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。